

空き家解消へ団結

4NPO、専門家と連携 ワンストップで相談窓口



「頼れるチームになろう」と呼び掛ける桑原さん
＝県庁昭和庁舎

県内で地域貢献活動に取り組む四つのNPO法人が22日、「空き家対策プロジェクト」を立ち上げた。自治体や不動産会社、法律、税務の専門家と連携、各NPOが4月をめどにワンストップの相談窓口を設ける。民間のネットワークを生かした機動力を通じて全県の空き家解消を目指す。

発起人となったのは困り事の相談事業を展開するNPO、よろずや余之助(太田市)。空き家対策に当た

ら、一体となって取り組む組織をつくらうと、交流のある団体に声を掛けた。賛同したのが、じゃんけ

った業者や有資格者の支援が欠かせない。プロジェクトには弁護士や司法書士、解体業者にも加わってもらい、助言や協力を仰げる態勢を整えた。

介護施設を運営する社会福祉法人とも連携、一人暮らしの高齢者宅など、将来的に空き家となる可能性があるある案件への対策にも取り組む。

22日は県庁昭和庁舎で初会合が開かれ、20人が今後の方針を確認した。よろずや余之助の会長で、プロジ

エクトの実行委員長を務める桑原三郎さん(69)は「活用、処分を考える前にある、厄介ことの相談に乗りたい。頼れるチームをつくらう」と話した。

プロジェクトの参加者、協力者も募集している。問い合わせはよろずや余之助(☎0276・46・6887)へ。

北関東3県警合同
部内で業務説明会

来月9日

U、I、Jターン就職を考える首都圏の学生や社会人を対象に、本県と栃木、茨城の3県警が合同で2月9日に新宿NSビル(東京都新宿区西新宿)で「北関

上野三碑

「世界の記憶」 上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会
は26日から、計3回の「上野三碑講演会」を開く。多くの県民に関心を持ってもらおうと毎回異なる地域で開き、専門家が国連教科科学文化機関(ユネスコ)「世界の記憶」に登録された三碑の価値と魅力を伝える。

26日は古岡町文化センター(定員100人)で開催。高崎商科大特任教授の熊倉浩靖さんと群馬地域文化振興会常務理事の松田猛さんが講師で、三碑と北群馬郡の関係性などを語る。

2月17日の桐生市・新里総合センター(同180人)では同推進協委

歴史と価値 広く関心を

員の前
査の小
教の在
塔」を
最終
女子大
さんが
田さん
字など
いず
メール
ana.
221
必要、
027